

「景観」とは？

「景観」とは、景色のことです。それでは、景色とは何でしょうか。

目を開けば、そこには景色がある、と私たちは素朴に考えがちです。しかし、西欧の風景学者は、次のようにいいます。「山があるから、山の景色があるのではない。景色として山を見るから、山の景色があるのだ。西欧人が、アルプスの山々を美しい景色として眺めるようになったのは、18世紀になってからのことである。」

私たち日本人が、妻籠^{*}や倉敷の伝統的なまちなみを景色として眺めるようになるのは、昭和40年代以降のことです。屋久島や白神山地や釧路湿原に人々が目を向けるようになるのは、つい最近のことです。

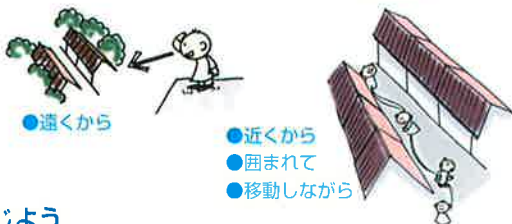
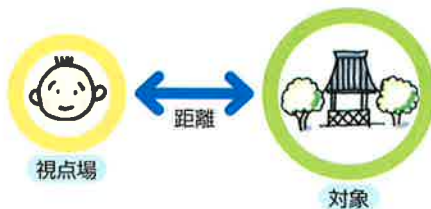
確かに、山があるから、山の景色があるわけではありません。山や伝統的なまちなみや原生林や湿原そのものは、景色として見られる以前から存在しています。それが景色になるのは、それを景色として眺める見方が生まれたからです。

景色は、物的環境ではありません。景色は、物的環境と、それを景色として見る見方、この両者があって成り立つものです。景色の見方は、人々の価値観から生まれるものです。それは、人によって、地方によって、民族によって、また、時代によって異なるものです。その人が属する文化によって異なるといっよいでしょう。それ故、景色は、物的環境であるとともに文化である、といえるでしょう。

※妻籠：岐阜県の中山道の宿場町のこと

●視点場を考えよう

「景観を眺め、楽しむ場所」が視点場です。景観を美しいと感じるためには見ている人がいる場所（視点場）が快適であることが重要です。



●時間によって変化する景観を感じよう

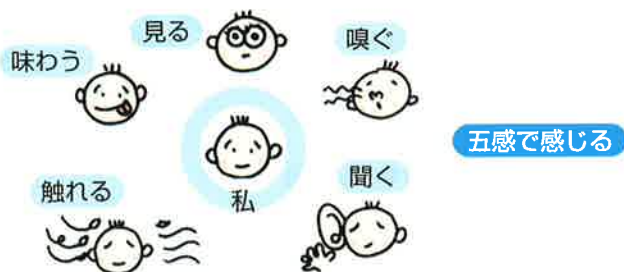
景観は時間によって変化します。それは、朝から夜にかけての一日の変化であったり、何十年、何百年と時間をかけて変化するものであるなど、景観が変化する時

間の単位も違います。景観を考える際には、過去はどのような景観であったのか、将来どのような景観が地域にふさわしいのかなど、時間経過による景観の変遷も重視していく必要があります。

●景観を五感で感じよう

視覚の他に、音、匂い、手触りといった五感を通して景観というものを感ずるといふ視点も必要です。また、普段の生活から感ずるまちの雰囲気、文化、歴史など目に見えない五感で感ずる印象も"景観"のひとつです。

- 見 る…視点(人間)と視対象(見る対象)の関係から、「近景・中景・遠景」といふ距離による景観の見え方の違いによる捉え方と、視点場の種類や眺望の構造による捉え方が必要です。また、上から下へ「見下ろす」眺めと、下から上へ「見上げる」眺めや、車両等移動するものから見る眺め等の視点も必要です。
- 聞 く…心地よい景観を楽しむ要素の一つに心地よい音があります。潮騒の音、木々の中をすり抜ける風の音、鳥のさえずりも景観の一つであり、良好な景観を更に心地よく感ずさせるものとして大切にしなければなりません。
- 嗅 ぐ…潮の香り、木々の香り、花の香り、街の匂いなども景観と合わせて大切にしなければなりません。
- 触れる…「日だまりの温かさ」や「切り通しの涼しさ」など、そこでしか体験できない、肌で感ずる景観の視点もあります。
- 味わう…そこでしか味わえない味、またその景観と一緒になり更においしいと感ずられる味など、「地域の味」も重要な景観資源です。



景観の分類について

この冊子では、山口県で育まれてきた良好な景観を、①生活の営みの景観、②生活環境の景観、③歴史的な景観、④自然の景観の4つの分類に分けて紹介します。

●生活の営みの景観

古くからある地域特有の祭りや、山口県の多様で穏やかな気候の中での春の花見、秋の紅葉など四季を感じさせる年中行事など、生活の営みによる景観が、県内各地で数多く大切に育てられています。

これらは、地域の人々の営みによって大切に引き継がれてきたもので、その地域を特徴付ける景観となっています。

●生活環境の景観

県内には、地域ごとに特徴ある都市景観、良好な田園景観や地域のシンボルとなる公共施設の景観などがあります。

瀬戸内地域の各都市の沿岸部に広がる工業地帯の景観などは都市景観の一つです。

また、海から山地に向けての斜面地や、盆地、谷筋沿いの斜面地には、段々畑や棚田が展開し、本県の文化的で特徴的な田園の景観となっています。

関門橋や角島大橋などの地域のシンボルとなる公共施設は、それ自体が周辺の自然や市街地環境と調和して、地域の特徴的な景観を構成しています。

●歴史的な景観

県内各地の城下町や宿場町、港町等として古くから都市が形成されていた地域では、当時の面影が残る歴史的なまちなみの景観を見ることができます。

歴史的な景観は、地域の人々に誇りや愛着を抱かせる住み良い空間になると同時に多くの観光客を呼び込む、おもてなしの空間となっています。

●自然の景観

穏やかで多くの島嶼が点在する「多島海景観」や、新緑や紅葉が美しく、校歌にも多く歌い込まれ、地域のシンボルとして親しまれる「山並み景観」、広い流域の中で上流から中流、下流と様々な表情を見せる「河川景観」など、県内全域で見られる豊かな自然景観は、ゆっくりとした美しい四季を感じさせる山口県を代表する特徴的で良好な景観として、県外からの訪問者にも高く評価され、大きな満足感を与えています。

● 東部（岩国地域、柳井地域）

市町名	番号	景観の名称	ページ
岩国市	1	城山から見下ろす岩国のまちなみ	12
	2	周防祖生の柱松	13
	3	岩国城下町のまちなみ	14
	4	寂地山の豊かな自然	15
	5	竜頭の滝	16
	6	銭壺山から見る瀬戸内海	17
	7	羅漢山からの眺望	18
和木町	8	蜂ヶ峯総合公園内のバラ園	19
柳井市	9	余田臥龍梅	20
	10	誓光寺山公園から見る白壁のまちなみ	21
	11	阿月神明祭	22
	12	大島瀬戸と大島大橋	23
	13	柳井ウェルネスパークからの眺望	24
	14	江戸情緒通りと白壁のまちなみ	25
	15	新市通りの道筋	26
	16	柳井川の水辺空間	27
	17	白壁のまちなみ	28
	18	茶白山古墳	29
周防大島町	19	観光農園のみかん狩り	30
	20	大島大橋	31
上関町	21	祝島集落の練堀	32
平生町	22	大星山展望台から見る瀬戸内海	33

●中部（周南地域、山口・防府地域）

市町名	番号	景観の名称	ページ	
下松市	23	きつねの嫁入り	34	
	24	笠戸島の夕日岬から見るはなぐり岩	35	
光市	25	早長八幡宮の秋祭り	36	
	26	海商通りから見るあいご	37	
	27	石城山神籠石	38	
	28	島田川に架かる旭橋	39	
	29	室積・虹ヶ浜海岸	40	
	30	海岸線に沿って眺める伊保木海岸の岩場	41	
	31	多賀神社付近から見る室積半島	42	
	32	ツリーまつり	43	
	33	八代のナベヅル	44	
周南市	34	コンビナートの夜景	45	
	35	ぴーえっち通り	46	
	36	旧山代街道から見るまちなみ	47	
	37	ふるさと詩情公園から見る田布施川	48	
田布施町	37	ふるさと詩情公園から見る田布施川	48	
山口市	38	一の坂川と川沿いのまちなみ	49	
	39	山口七夕ちょうちん祭り	50	
	40	三谷の棚田と石垣	51	
	41	嘉川八幡宮から見る田園風景	52	
	42	寒漬用の大根干し	53	
	43	周防大橋	54	
	44	サビエル記念聖堂	55	
	45	名田島新開作南蛮樋	56	
	46	居蔵造の家並み	57	
	47	瑠璃光寺五重塔	58	
	48	凌雲寺遺跡とその周辺の田園	59	
	山口市・阿東町	49	SLやまぐち号	60
		50	阿弥陀寺	61
	防府市	51	防府天満宮の梅の花	62
		52	三田尻 商人達が通った石畳の道	63
		53	三田尻 大屋根の醤油蔵とまちなみ	64
		54	徳佐八幡宮のしだれ桜	65
阿東町	55	徳佐のりんご園	66	
	56	長門峡	67	
	57	ため池に映る十種ヶ峰の姿	68	

●西部（宇部・小野田地域、下関地域）

市町名	番号	景観の名称	ページ
宇部市	58	六角堂と宇部のまちなみ	69
	59	中央町三丁目のまちなみ	70
	60	島地区の路地	71
	61	松山町付近の国道190号	72
	62	真締川公園	73
	63	常盤湖	74
	64	琴芝県営住宅のれんが広場	75
	65	厚狭川の桜並木	76
美祢市	66	秋吉台の草紅葉	77
	67	桜山総合公園から望む採石場	78
	68	万倉の大岩郷	79
山陽 小野田市	69	旧山陽道～厚狭駅前商店街のまちなみ	80
	70	硫酸瓶の擁壁	81
	71	旧小野田セメント徳利窯	82
	72	きららビーチ焼野から見る夕陽	83
下関市	73	先帝祭	84
	74	桜井八幡宮から見る田園風景	85
	75	火の山から見る関門海峡	86
	76	角島大橋と角島	87
	77	関彦橋から見る下関漁港閘門	88
	78	関門海峡沿いの新しいまちなみ	89
	79	長府古江小路の土塀と長屋門	90
	80	ライトアップされた下関の歴史的建造物群	91
	81	川棚のクスの森	92
	82	響灘・厚島展望台公園から見る響灘	93

●北部（長門地域、萩地域）

市町名	番号	景観の名称	ページ	
長門市	83	仙崎の家並み	94	
	84	深川 赤崎山の楽棧敷	95	
	85	東後畑の棚田	96	
	86	萩焼・深川窯の里 三ノ瀬	97	
	87	大寧寺境内と磐石橋	98	
	88	青海島	99	
	89	千畳敷	100	
	萩市	90	堀内伝統的建造物群保存地区のまちなみ	101
		91	笠山 椿群生林	102
92		大照院の万灯会	103	
93		松本川の伝統漁法 しろうお漁	104	
94		越ヶ浜嫁泣港	105	
95		見島 宇津観音崎	106	
96		平蔵台の雲海	107	
97		江崎漁港と西堂寺六角堂	108	
98		藍場川	109	
99		江戸屋横丁の城下町のまちなみ	110	
100		菊屋横丁のまちなみ	111	
101		平安古の鍵曲	112	
102		浜崎の伝統的まちなみ	113	
103		萩城本丸跡	114	
104		萩往還 一升谷の石畳	115	
105		須佐のホルンフェルスと日本海	116	
106		菊ヶ浜から見る指月山	117	
阿武町		107	JR山陰本線 惣郷川橋梁	118
		108	清ヶ浜海岸	119

この本の読み方

本書は次のような項目でページを構成しています。

1 景観の特徴、地域特性

景観の主な特徴や、その地域の特性を紹介しています。

2 景観が育まれてきた経緯

景観の自然、文化、歴史などから、その景観が育まれてきた経緯を紹介しています。

3 景観の見方

景観を眺め、楽しむことができる視点場を紹介しています。また、視点場から景観を見たときに感じたことなどや、掲載されている写真以外の見方についても紹介しています。

4 地図

「視点場」を赤丸印で、「見る向き」を矢印で表しています。

5 アクセス

視点場の所在地や視点場までの交通手段を紹介しています。